

## 2013年度（平成25年度）事業報告書

### 1、会務

財団法人ソーシャルサービス協会理事会を7回、評議員会を3回、事務局会議15回、全国事業所長会議を2回行いました。その中で公益法人にふさわしい諸規定の改定と管理機能の強化について取り組みました、又会計実務を充実し事業発展に向けた意思統一を行ってきました。2014年3月、厚労省による定期立ち入り検査が行われ、「特に大きな問題は認められなかった」との結果報告を受けました。そのほか公益法人としてのガバナンス確立に向け正確な会務が行われるよう努めました。

### 2、事業概況

- (1) 経常収益は介護事業、宿泊事業等の縮小などがありましたが清掃事業、ホームレス支援事業などの増額があり前期比の0.7%増となりました。
- (2) 経常費用に占める公益費用の割合は48.91%となりました。
- (3) 公益事業による当期正味財産増減額は△約1,171で収益事業は△約2,238万円となり法人全体としては△約3,410万円となりました。

### 3、主な事業内容

#### (1) 清掃事業

高齢者、日雇い労働者を雇用して行う事業として公園、道路清掃、除草、建物清掃等をなど自治体からの委託事業で行いました。今年度事業高は約8,410万円で競争入札による仕事確保が順調に行われ約3,554万円増となりました。清掃事業における雇用者の高齢者、日雇い労働者、の比率は80%を超え公益目的の役割を担いました。

#### (2) 無料低額宿泊事業

東京、京都において、生活困窮者に対する無料低額宿泊事業を行いました。関連した事業として路上生活者にならないための「居場所つどい」は週4回行い、延べ約1,000名以上の方が利用しました。アルコール中毒・薬物中毒となり社会復帰が困難な人に対する相談活動も継続して実施しました。事業高は約5,936万円で昨年より約2,512円減少しました。これは多摩支所において利用者の減少等により下里寮の廃止を行った事によるものです。

#### (3) ホームレス支援事業

京都市からの委託事業であるホームレス自立支援事業とあわせ今年度はホームレスの能力活用推進事業等を行いました。又OBホームレスに対するアフターケアを強

化しました。事業高が約9,092万円となり昨年度より約455万円増となりました。

#### (4) 無料職業紹介事業

京都ワークセンター事業所の開設に次いで今年度ITセンター事業所において就労困難者の無料職業紹介事業を行うために東京労働局に申請を行い2事業所で無料職業紹介事業を開設しました。

#### (5) その他事業 (IT 身障者職業訓練)

ITセンターにおいて失業者、身障者などへのパソコンの職業訓練事業、などを行い、その他事業収益では約1,935万円となり昨年より約300万円削減しました。

#### (6) 介護事業

介護事業は、訪問介護、居宅介護を中心に、せせらぎ、仙台、塩釜、京都、高知、都城の6事業所においてに取り組んできました。又福岡事業所においては移動介護従事者養成研修実施の申請行うなど取り組みました。高齢者者の就労の確保では高齢者雇用率は70%を超え引き続き貢献してきました。介護福祉事業収益は約2億1,058万円となり昨年度より約2,176万円の減少となりました。その原因としての共通点は重度介護者の死亡、施設入所などによる減少による介護報酬の減少したこと、合わせてヘルパー不足が解消されないため利用者の増加を行う事ができないことがありました。

#### (7) 「貸室」「賃貸」などの管理・運営に関する事業

基本財産の主たる会館である全日自労会館、ユニオンコーポで「会議室使用の貸室」「事務所賃貸」事業を行いました。

以 上